事例No.	2635
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	小樽サンモール一番街商店街振興組合

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

小樽サンモール一番街商店街振興組合

出典

平成29年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

小樽サンモール一番街商店街振興組合　北海道小樽市

概　要

当該商店街地域は、小樽市の少子高齢化等による人口減少の影響により、百貨店の撤退やホテルの閉鎖など、商店街の衰退が目立つようになったが、近年、同地域において屋台村の整備や病院・高齢者住宅が建設され、周辺の交流人口が増加する傾向にあった。こうした背景を基に多くの市民・観光客に同商店街地域において長く滞在してもらうため、音楽にスポットを当て、他の商店街にはない『ストリートピアノ』を設置し、誰でも自由に演奏できるようにしたもの。





評価された点

・周辺の交流人口を増やし、滞在時間を長くするためにストリートピアノを設置。人が集い、交流する空間を実現したことは各地の商店街再生のヒントとなる。
・音楽のまちづくりとしてユニーク。
・日本で珍しいストリートピアノの取組で面白い。
・全国各地のシャッター通りの代名詞「寂しい商店街」。ともすれば、あの日をもう一度の夢だけ施策として、イベント型の活性策が目に付く中で「普通に当り前に」「自分達が出来ることからやってみる」「やってみたら楽しい」「楽しいから人が集まる」。楽しい新時代の商店街の風景づくりとなっている点は、極めて地味ながら「改革」の一歩と言える。

特定非営利活動法人上士幌コンシェルジュ　北海道上士幌町

概　要

過疎問題に立ち向かうべく、平成17年度から町が中心となって生活体験事業を実施してきたが、よろず相談ができる総合窓口が課題となった。官民連携で移住促進活動を図るべく、町内の有志により、平成22年６月にNPO法人上士幌コンシェルジュが設立される。移住者や生活体験者、地元町民等のコミュニティの架け橋になることにより、移住者を増やす原動力となる。移住者が主催している「誕生会（交流会）」「フリーマーケット」等の活動をサポートしている。



評価された点

・移住・二地域居住者のワンストップ窓口機能が効果を上げ、平成27年度から28年度にかけて、人口31人増は、突出した実績。
・上士幌コンシェルジュが窓口となったことで、生活体験者が飛躍的に増えており、平成23～28年度の6年間で230組560人が生活体験事業に参加している。そのうち86人が町へ移住・二地域居住している実績が評価できる。
・移住定住に向けた生活体験事業を展開。実際の移住定住実績も伸びており、成果を上げている取り組みである。
・この人口減時代に、少しでも増加につながったということは、何よりも大きな成果だと思う。生活体験者数から移住者数の増加につながり確実にファンが増えている。
・６年間で86人が移住、人口増を実現しているという実績が一番。

